



『からだノート -中学生の相談箱-』 徳永桂子／著 大月書店  
 気になるけど、どうしたらいいかわからない……。心や体の悩み、抱えていない？ そんな時、本を開くのも1つの解決方法。この本では、実際の中学生からの相談に、丁寧に答えているよ。

### 『あたりまえのカラダ』

岡田慎一郎／著 イースト・プレス  
 「正しい土下座」「正しいヤンキー座り」できますか？ 腹筋が割れていなくても、カラダを正しく使えれば、気になる女子（男子でも可）をお姫様抱っこするのも夢じゃない！



『左足のポルカ』 手島織江／作 倉部今日子／絵 偕成社  
 もしも、手や足がひとりで動き出したら……。とある場所で少年がガケから落っこちた。まだまだ死にたくない左足はどうしたか？ なんとも奇妙な左足の冒険物語。

## 知りたい。わたしを。

### 『境界を生きる -性と生のはざまで-』

毎日新聞「境界を生きる」取材班／著 毎日新聞社  
 なにもかもが2つにはっきり分けられるわけじゃない。性別だって同じこと。“境界”を生きる人たちの、絶望から希望までを描いた心ふるえる記録。



『放浪息子 ①』 志村貴子／著 KADOKAWA(ビームコミックス)  
 「二鳥くんは女の子になりたい人ではないの？」女の子になりたい二鳥くんと男の子になりたい高槻さん。2人の誰にも言えない秘密。小学5年から高校2年までをさわやかに描く物語。全15巻。



『ココロ』 谷川俊太郎／著 朝日新聞出版  
 飛んだりねたりからっぽになったり。ココロっていつも微妙に揺れている。そんな「心」をテーマにした詩の数々。白黒の写真と合わせてじっくり味わってみよう。

大切なものは  
 ココロ



『わたしが降らせた雪』 グレース・マククリーン／著 堀川志野舞／訳 早川書房  
 明日大雪が降れば、学校に行かなくてすむのに。いじめにあうジュディスが願うと、本当に雪が降ってきた。続いて起こる「奇跡」に、ジュディスは魔法の力があると信じるようになり……。

### 『中学生までに読んでおきたい哲学 2 悪のしくみ』

松田哲夫／編 あすなろ書房  
 「善悪の区別を、我々は確実に決定できるだろうか」  
 10代の君たちは、もうその難しさを知っているかもしれない。心揺れる話の数々、どう感じますか？



『愛すること』 オスカー・ブルニフィエ／文 藤田尊潮／訳 世界文化社  
 愛するってなんだろう？ 友情ってなんだろう？ 深く考えてみると、それが哲学の初めの1歩。自分の答えは正しくて、人の答えは間違ってる？ 答えは、きっと1つではない。

### 『「赤毛のアン」が教えてくれた大切なこと』

茂木健一郎／著 PHP研究所  
 女の子向けだと思われる『赤毛のアン』だけど、茂木さんは男の子にこそ読んで欲しいとのこと。心の持ち方ひとつで幸せになれる、素敵なヒントがたくさん詰まっています。

